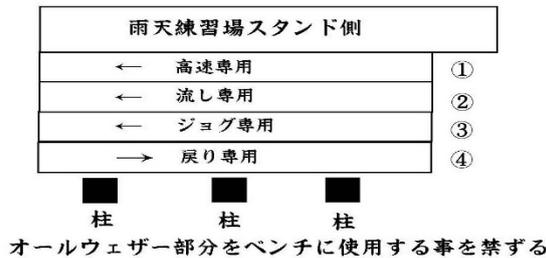


競技注意事項

1. 本大会は、2024年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 練習について

- (1) 本競技場での練習時間は次のとおりとする。
 - 25日(金) 13:00~16:30 (トラック、走高跳、棒高跳、走幅跳)
 - 26日(土) 7:30~ 9:00 (トラックのみ)
 - 27日(日) 7:30~ 9:10 (トラックのみ)
- (2) 第二競技場での練習(トラック、跳躍)は次のとおりとする。
 - 25日(金) 13:00~16:30 (トラック、走高跳、砂場の解放のみ)
 - 26日(土) 7:30~17:00 (トラック、走高跳、砂場の開放のみ)
 - 27日(日) 7:30~16:00 (トラック、走高跳、砂場の開放のみ)
- (3) 雨天走路
25日(金) 13:00~16:30 ・ 26日(土) 7:30~16:30 ・ 27日(日) 7:30~15:30
下記の図のとおり使用すること。



3. 招集について

- (1) 招集所は、第1ゲート外側(ゴール外側)に設ける。
- (2) 招集時間について

トラック 競技	種目によって招集開始時間及び招集完了時間が異なるので
フィールド 競技	

- (3) 招集は必ず本人が行い、完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものととして処理する。ただし、招集時間と他種目が重なる場合は、その旨をあらかじめ競技者係(招集所)に申し出、必ず招集を受けること。
- (4) 各種目とも競技者の集合が完了したら、誘導により入場する。
- (5) 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなして出場を認めない。
- (6) 競技者は、携帯電話等通信機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- (7) リレーのオーダー用紙について、予選は招集完了時刻の1時間前、決勝は招集完了時刻の30分前までに競技者係(招集所)に提出すること。(オーダー用紙は1枚とする)
- (8) 出場する種目を棄権する場合は、招集完了時刻までに競技者係(招集所)まで申し出ること。

4. 競技について

- (1) 競技者は、当該種目以外競技場に立ち入ることはできない。
- (2) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。
- (3) トラック競技の判定は、すべて写真判定装置(電気計時1/1000)で行う。
- (4) トラック競技においてプラス進出者を決める場合、その最下位で同タイムが出た場合(以下同タイム者という)は、判定写真を細部(電気計時1/1000)まで読み取り判定をする。
- (5) リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用すること(やむを得ない場合は、ランニングシャツは必ずそろえ、パンツは同一色のものを使用することとする)。女子のセパレートとランニングシャツとの混在は、同じデザインならば認める。
- (6) リレーのマーカ―は、主催者の用意するものを使用することとするが、各自で用意したマーカ―を使用しても良い。(大きさは50mm×400mm以内とする)
- (7) 「助力」は、スタンド内に設けられたコーチェリアからは認めるが他の競技運営に妨げにならないこと。
- (8) 三段跳の踏切板は、男子12m、女子10mとする。
- (9) ビデオ監視システムを使用し判定を行うことがある。
- (10) 800m以上の種目は招集時に、腰ナンバーカードを受け取り右腰斜め後方に着用すること。レース終了後、係員に返却すること。
- (11) 3000m以上の種目は、黄色のレーンナンバーピブスを貸与するので、左腰に着用すること。レース終了後、係員に返却すること。
- (12) 5000mWは、招集時に競歩用ピブスを貸与するので、招集完了1時間前までにTICまでとりに来ること。胸・背に着用し、レース終了後、係員に返却すること。

5. 競技用靴について

- (1) スパイクは、トラック・フィールドとも9mm以下を使用すること。ただし、走高跳、やり投は、12mm以下のものを使用する。
- (2) 厚底シューズ規定に伴い、規定に反するシューズの使用を禁止する。ただし、WA_TR5.2に関して、フィールド競技用シューズの適用除外を認め、使用することができることとする。
記録は国内の公認記録として認められる。但し、リレー・競歩・投てき種目についてはWAへの申告を行わず、国際大会への参加資格とはならない。

6. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

	練習 A	練習 B	練習 C	1	2	3	4	5	6	以後上げ幅
男子走高跳	1m70	1m80	1m90	1m75	1m80	1m85	1m90	1m93	1m96	以降 3cm
女子走高跳	1m40	1m50	1m60	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	1m64	以降 3cm
男子棒高跳	3m60	4m20	4m60	3m80	4m00	4m20	4m30	4m40	4m50	以降 10cm
女子棒高跳	2m20	2m60	3m00	2m40	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	以降 10cm

- (1) 上記の通りとする。但し、天候等の状況により変更する場合もある。
- (2) 第1位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

7. アスリートビブス（以下ビブス）について

- ① アスリートビブス（ナンバーカード）は、胸・背部に確実に付けること。（安全ピンを使用してもよい。）跳躍競技に出場する選手は胸部または背部のどちらか一方でもよい。
- ② トラック競技と4×100mRの第4走者、4×400mRの第2～4走者は、写真判定用の腰ナンバー標識（レーンナンバーカード）を招集所で受け取り、ランニングパンツの左右やや後方に着用すること。

8. 競技用具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用することを原則とする。
ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものを使用できる。検査は跳躍審判員が行う。
- (2) 「やり」は持参したものを競技開始90分前から競技開始時間までにTICで検査を受けて、検査に合格し借り上げた器具は、競技場のものとして使用する。なお、検査は1人2本までとし返却は競技終了後TICでおこなう。

9. 表彰について

決勝で1～8位までに入賞した競技者は、表彰を行うので成績発表後、直ちにエントランスホールに集合すること。（本人の都合がつかない場合は、代理を出すこと）※B決勝の表彰はおこなわない。

10. 抗議について

- (1) 競技中に起きた競技者の行為、順位に関する行為は、結果の正式発表後、30分以内（次のラウンドが行われる種目では15分以内）に当該競技者の顧問が口頭で本部に申し出ること。
- (2) 審判長の裁定に不服な場合は、上訴審判員に預託金10,000円を添えて文書で上告する。この預託金は、抗議が却下された場合は、返却しない。「上訴申立書」は担当総務員席（本部席）に準備する。

11. その他

- (1) 大会期間中に競技場で発生した傷病や疾病は、メインスタンド下の医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。
- (2) 各学校の責任で環境美化に努め、ゴミは持ち帰ること。
- (3) 競技場の開門は大会2日間ともに7:00とする。
- (4) 各校のベンチについて、競技場内は各県割り当てとする。また、場所確保、壁や柱に紙等を貼るためのテープ類の使用は厳禁とする。（前日練習「金曜日」は各チームの荷物は必ず持ち帰ること）
- (5) 各校の部旗・のぼり・横断幕設置場所は、各県で指定されたバックスタンド及びサイドスタンドの手すりのみとし、必ずひもで止めること。（ガムテープ等は絶対使用しないこと。）通路をふさいだり座席に覆いかぶせたりはしないこと。なお、横断幕（部旗含む）は、各校1張りのみとする。のぼりは、手すりのみとし、各校5本までとする。競技終了後張ったままにしておいてもよいが、風にはためかないように巻き上げておくこと。
- (7) トレーナーステーションは設置しない。
- (8) コーチングエリアを設置する。
- (9) フィールド種目競技者による映像確認についてはコーチエリアかつ、映像提供する者から手渡しできる場所に限る。メインスタンドからは、不可とする。（TR6）
- (10) 本競技会においては、競技者名・学年・所属校、また大会の結果をインターネットへの記載することや上位入賞者については、新聞等への掲載をするので、各校顧問ならびに競技者は承知しておくこと。

(11) 写真・ビデオ撮影について（選手の人権保護の観点より、ご理解ご協力をお願いします。）

① スマートフォン・タブレット端末のみ可能とする。

② 観客席での撮影禁止エリア

※撮影禁止エリアでは、スマートフォン・タブレット端末も禁止とする

- ・各種目のスタート後方
- ・走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳の助走後方・着地前方
- ・走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）

③ 保護者および本人の了承がない撮影の禁止。

④ 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡を取ります。